

終章

大学についての認証評価制度は、2011年から第2期を迎えた。これにより、大学評価は新たなステージに移行し、「内部質保証システム」の構築が重視されるようになった。このことは、PDCAサイクル等の方法を適切に機能させることによって、質の向上を図り、教育・学習をはじめとする大学の活動やサービスが一定水準にあることを、大学が自らの責任で説明・証明することが可能となる学内の仕組みが、恒常的に担保されることを求めるものである。

本学では、大学改革に向けた種々の取組みを進めてきた。両学部および大学内の各部署において、現状を見据えて、問題状況を改善するための様々な工夫と方策を考え、改革への道筋を模索してきたことは事実であり、それに対しては一定の評価がなされるべきであろう。しかし、そうした工夫や方策とそれらに基づく取組みの結果を詳細に検証し、それをふまえて次の計画と活動につなげていくための仕組みは必ずしも構築されていなかった。また、改革に向けた取組みについて、その目標および方針を学内の全教職員に周知徹底するための仕組みが必ずしも十分ではない面もあった。これらの点については、今後の大きな課題としなければならない。

本学は、建学の精神である「敬天愛人」の理念に則して、これまで半世紀近くにわたり、社会に貢献する有為な人材の育成に努めてきた。本学のこうした取組みの成果は、社会で堅実に活躍する本学の卒業生諸氏の存在を通して確認することができる。グローバル化や高度情報化の進展等により、社会のあり方が大きく変わりつつある時代状況ではあるが、本学は建学の精神を不易で普遍性をもつものとして、今後も大学運営の根底に据えて、本学の独自性と特色を発揮していくことに努めたい。

他方で、時代の変化と社会の要請に対応した組織体制づくりも進めていかなければならない。前回の認証評価を受けた後、本学は予定されていた新館建設を契機に、両学部のキャンパスを統合した。事務局の体制も整理・再編し、教学部門を中心に統一的な事務体制とした。こうした変化に伴い、学生および教職員の交流は目に見えて活発となり、キャンパスの活性化が促進されたことは事実である。また、両学部において新学科（こども学科、経営学科）を設置し、2学部4学科体制へと発展的に移行したことは、時代と社会の要請に応え、より専門性の高い学びの機会を提供する教育体制を整備する機会となった。しかし、これらの一連の取組みについては、その評価と改善に向けての全学的検討はまだなされていない。

以上の取組みも含めて、本学の改革をめぐる課題は少なくない。本報告書における基準の各項目については、各章に記したとおりであるが、ここでは全学的な観点から優先的に取り組むべき課題について触れておきたい。

第1は、学士課程教育を支える全学的な教学システムの改革推進である。現在、学長からの指示に基づき、「教学システム改革推進会議」を定期的で開催し、学部の枠を越えた全学

的な立場から教学システム全般についての見直しと改善を図っている。「敬愛大学教育憲章」の策定や両学部におけるカリキュラム・マップの作成等、教育における質の保証と向上をねらいとする改革への具体的な取組みも始まっている。

第2は、入学定員充足率の引き上げに向けた改革推進である。今後の18歳人口の減少期を前に、大学における定員確保は最重要課題となっている。学生の受け入れについては、学部・学科の相違や年度による変動もあり、学生確保と定員管理は容易ならざる状況にあるが、在学生に対して良質な教育・学習を提供し、きめ細かな就職・進路支援を行うことで入学希望者を増加に導くことが求められている。また、KCNシステムの活用と教職（教員・職員）協働による中退者減少への取組みも不可欠であると思われる。

第3は、財務の健全化に向けた改革推進である。私学経営の鉄則は、収入の範囲内で支出を賄うことであるが、近年において本学は支出超過のアンバランスな状態が続き、財務の立て直しを必要とする状況に立ち至った。その後、理事会の努力と教職員の理解・協力により、財務状況は徐々に改善に向かいつつあるが、本来の健全な財務状況を回復するためには、入学定員確保と中退者減少が改めて至上命題となる。

今回、本学の改革への取組みを進める中で認証評価に向けた自己点検・評価を実施したことで、本学における今後の課題が明確になった。それは、改めていうまでもなく「内部質保証システム」を構築し、PDCAサイクルの確実な実行体制の確立を図ることである。今後においては、まず自己点検・評価委員会が中心となり、教育目標の設定や教育課程の内容、管理運営の体制等について、全学的な立場でPDCAサイクルの実行と継続に注力していかなければならない。それは、本学の学生に対して、より良質な教育と環境を保証することであり、建学の精神の目指すところでもある。